

「雨量による通行止」は、市民生活に影響があり対策を

川上 修一 議員



懸案の県道新見川上線
抜本的対策を

川上 県道新見川上線について、現在の状況は。

土木部長 この路線は重要路線であり、県と連携を図りながら進めている。用地の問題で調整協議を行っている。一日も早く整えたい。

川上 新見川上線の時間雨量の増加による通行止めは市民生活に大きな影響がある。早急な道路整備を求め、通行止め対策を求める。

土木部長 通行止めの区間である田原から布賀駐在所前までについては工事を行っていない。今後は危険箇所から順次整備を県に要望していきたい。

川上 富家地区における平成30年7月豪雨災害により発生した危険箇所の対策は。

土木部長 富家地区の堤防の問題や浸水の問題について県と地元で現地確認をしている。状況把握に努め内水対策も努めていきたい。

農村地域の移住定住対策は

川上 定住対策に特化した政策監に期待するが、我々のような地域における対策をどのように考えられているか。

政策監 川上地域、備中地域が立地条件を生かして、ぶどう、トマトの産地を形成していることは地域の強み。新規就農者の確保を通じて産地の維持拡大と移住定住の推進を図っていきたい。

川上 少子高齢化と物価高で地域は困っているが、対策は。

市長 農業は基幹産業である。移住定住については、全国から注目される取り組みを行いたい。

早急な整形外科の常設化を

伊藤 泰樹 議員



市内県立高校の
2校存続に向けた
取り組みについて

伊藤 市内生徒が減少する中、市外生徒の獲得に向けて特別な取り組みが必要ではないか。

教育長 通学費の補助について対象者や交通機関をどういう範囲にするのか。さらにどういった補助の方法にするのか。総合的に勘案して研究している。

文化財について

伊藤 夫婦岩の文化財としての価値についての見識は。
教育長 地元からの要望を受け現在文化財の指定に向け検討を始めたところである。

高梁市国民健康保険
成羽病院について

伊藤 整形外科の常設化ができないか。

病院事務長 整形外科の課題は認識しており、診療日の増設や常勤化に向け各方面に働きかけているが、医師確保には至っていない状況である。

職員採用と
就業状況について

伊藤 本年度新規採用者のうち市内に居住していないのは何人か。
総務部長 22人中11人だが、いずれの職員も一定期間後は市内に引越すと聞いている。

選挙について

伊藤 市内大型商業施設での実施を検討すべきではないか。
市民生活部長 今後に向けて研究を行っていききたい。

定住促進施策について

小林 重樹 議員



空き家対策について

小林 空き家バンクの現状はどうなっているのか。

政策監 平成19年度から運営を始めて、令和4年度までの累計では空き家バンク登録数は524件、成約件数は387件と県下トップの登録数と成約数を維持している。令和4年度は登録数86件、成約数は39件、26世帯63人の定住効果につながった。

小林 希望する空き家にお試し滞在はできないか。移住を考え、市内を訪ねる人に対する補助はないか。

政策監 希望する物件に滞在することはできないが、高梁市への移住を考えている人には、生活体験として高梁市での宿泊料金やレンタカーの料金を助成するお試し暮らし補助金を設けている。他自治

オーダーメイド住宅の
今後の計画について

小林 オーダーメイド住宅の申し込み資格に市内の住民は加えられないか。

土木部長 住宅の在り方について、市営住宅としての位置づけと、定住目的というものをある程度明確にする必要がある。住宅に対する補助金や定住に対する補助金というものは準備しているが、それだけでは難しい部分もあると思う。今後、可能な限りできるような形で検討していきたい。

子育て世代のための 公園や施設整備を

森 和之 議員



高梁認定こども園整備に伴う跡地利用について

森 高梁南幼稚園跡地に設置されたバスケットゴールについて経緯を踏まえた説明を願う。

教育次長 バスケットボールの活動団体や愛好家の皆様から要望をいただいたり、森議員から以前の議会での提案を受けていた。跡地利用の方針が決定するまでの臨時的な設置だが、早期に実現できる取り組みとしてゴール2基を設置し、ハーフトートのラインを整備した。

森 スケードボードのパークを隣接したストリートスポーツの施設整備を望むのだがどうか。
教育次長 以前から提案を頂いている施設の整備は既存の施設をできれば活用する前提として最小の

ポストコロナの
観光施策について

森 ヨーロッパ圏の旅行者は訪問先の自然、伝統、文化に触れて背景にある歴史や哲学などの理解を深める傾向がある。ヨーロッパ圏をターゲットにする観光施策は必要ではないか。
市長 必要だと考えているが、準備がまだまだ不足していると認識している。

森 古民家再生で宿泊施設の充実を図るべきではないか。
市長 民間の力を借りなければいけないと考えている。物件の提供や周辺整備には行政として力を入れていきたいと考えている。